

平成 25 年度第二回選挙管理委員会議事録

公益社団法人日本地球惑星科学連合

1. 開催日時 平成 25 年 10 月 28 日 (月)
午前 10 時 00 分から午前 11 時 30 分
2. 開催場所 フクラシア東京ステーション 5 階 J 会議室
(東京都千代田区大手町 2-6-1 朝日生命大手町ビル 5F)
3. 議長 選挙管理委員長 砂村倫成
4. 出席委員 川村賢二
篠原雅尚
坪本裕之
浜田盛久
行松 彰
オブザーバー 総務委員長 古村孝志

5. 議事

(1) 当選者名簿の確認

議長より当選者名簿が提出され、これを確認した。代議員選挙実施細則第 6 条に基づき、得票数が同じ場合には年齢の若い者が当選となった。なお定数と候補者が同数であった地球生命科学は全員が当選となり、次点はなしとなった。

当選者には公表の時点でメールにて告知するが、その文面にセクションプレジデント選挙に関する案内も記載する。また次点の者にも、次点となった旨メールするとした。

(2) 前回議事録確認

9 月 25 日に開催された前回 (第一回) 選挙管理委員会議事録の確認を行った。加筆修正等は特になく議事録を承認した。

(3) 選挙期間の入会者受付の件

法人運営基本規程第三章第 6 条、第 7 条において選挙公示日を基準として定数を決めているため、選挙権は公示日までに正会員であることを条件とするのが望ましい。(現在は同第 8 条にて「代議員選挙の投票締切日までに、正会員として入会が認められその旨登録された者」となっている。) したがって、公示日以降の選挙期間中に入会した正会員には選挙資格

を付与しないことが望ましい。

(4) 選挙期間の登録区分の変更の件

新規入会と同様、法人運営基本規程第三章第 6 条、第 7 条において選挙公示日を基準として定数を決めているため、公示日時点での登録区分において選挙権を持つのが望ましい。選挙の実施と管理にあたり、選挙期間中の登録区分変更を妨げるものではないが、会員登録システムと投票システムの変更が望ましい。

(5) セクションプレジデント選挙に関して

現在、セクションプレジデント選挙に関する規則が整備されておらず、次回（2015 年）選挙までに整備が必要である。特に、被選挙者、選挙者および推薦者の資格条件の明記、およびセクションプレジデントと代議員の任期のずれを確認することが必要である。今後のスケジュール、公示の文面（案）、メールニュース（案）を確認し承認した。セクションプレジデント立候補届出書、推薦届出書、推薦承諾書は前回と同じ様式を用いるが、立候補の英文抱負の文字数表記は「和文 100 字以内相当」に統一する。

(6) 理事会での委員会報告の件

古村総務委員長より、10 月 11 日（金）に開催された理事会で選挙管理委員会の活動報告を行った旨報告があった。理事会では投票の呼びかけを依頼するメールの送信を決定し、第一回選挙管理委員会であがった問題（立候補と推薦や複数の推薦が重複した場合の対応、立候補時に正会員資格を事前確認することの促進、立候補や投票の期間前後に登録区分を変更することの是非、立候補者が定員に満たない場合の規定の制定等を検討したこと）を報告した。

(7) 立候補と推薦の重複、二件以上の推薦の重複の件

代議員選挙において立候補（自薦）と推薦（他薦）が重複した場合と二件以上の推薦の重複の件について前回会議に引き続き議論した。

立候補、推薦、重複した推薦をすべて有効とし候補者名簿および投票画面に列挙する案と、いずれか一つを有効とし他は無効とする案が挙げられた。

前回会議での議論通り、いずれか一つを有効とするとした。なお立候補と推薦が重複した場合候補者が選択でき、二件以上推薦が重複した場合、先着を有効とする。

覚え書き会議後、定数と候補者が同数であった登録区分の次点に関しても、今後検討し規則の改訂が必要であると確認されたため、ここに覚え書きとして記す。1. 次点のための補欠選挙を行う、2. 60 日以内に欠員が出た場合、補欠選挙を行う、3. 欠員がでても補充しない、の各案が挙げられた。

以上